

# 2014年12月期 第2四半期決算説明会

**GMO AD PARTNERS**

STOCK CODE : 4784

代表取締役社長 高橋 信太郎  
取 締 役 森 竹 正 明

## 本資料お取扱上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2014年8月6日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。

- 1 結論と要約
- 2 第2四半期決算概要
- 3 今後の成長戦略
- 4 事業別概況

# 1 結論と要約

# 売上高25.7%増、営業利益1.1%増

(単位：百万円)

	2013 1-6月	2014 1-6月	前年同期比
売上高	9,331	11,726	+25.7%
営業利益	401	406	+ 1.1%
経常利益	400	387	▲ 3.3%
最終利益	165	184	+11.8%

# 売上高の進捗順調、営業利益の進捗40.6%

(単位：百万円)

通期 連結業績	2014 1-6月	進捗率
売上高	23,000	11,726
営業利益	1,000	406
経常利益	1,000	387
最終利益	400	184

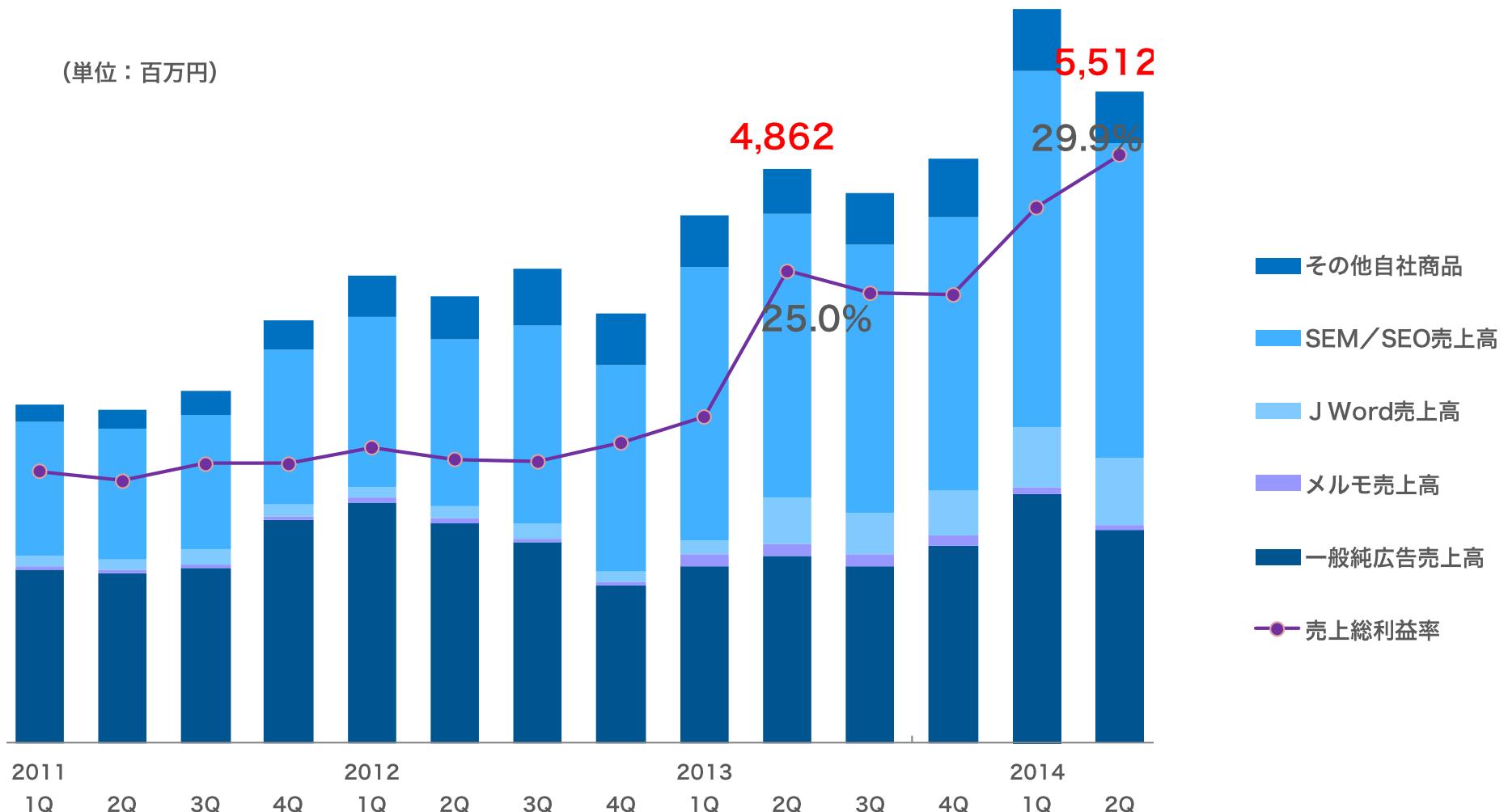
The chart displays the progress rates for each financial metric relative to the full-year forecast (2014 1-6月). The metrics and their progress rates are:

- 売上高 (Sales): 51.0%
- 営業利益 (Operating Profit): 40.6%
- 経常利益 (Ordinary Profit): 38.7%
- 最終利益 (Net Profit): 46.0%

A red dashed vertical line is drawn at the 50% mark on the right side of the chart, indicating the target level for all metrics.

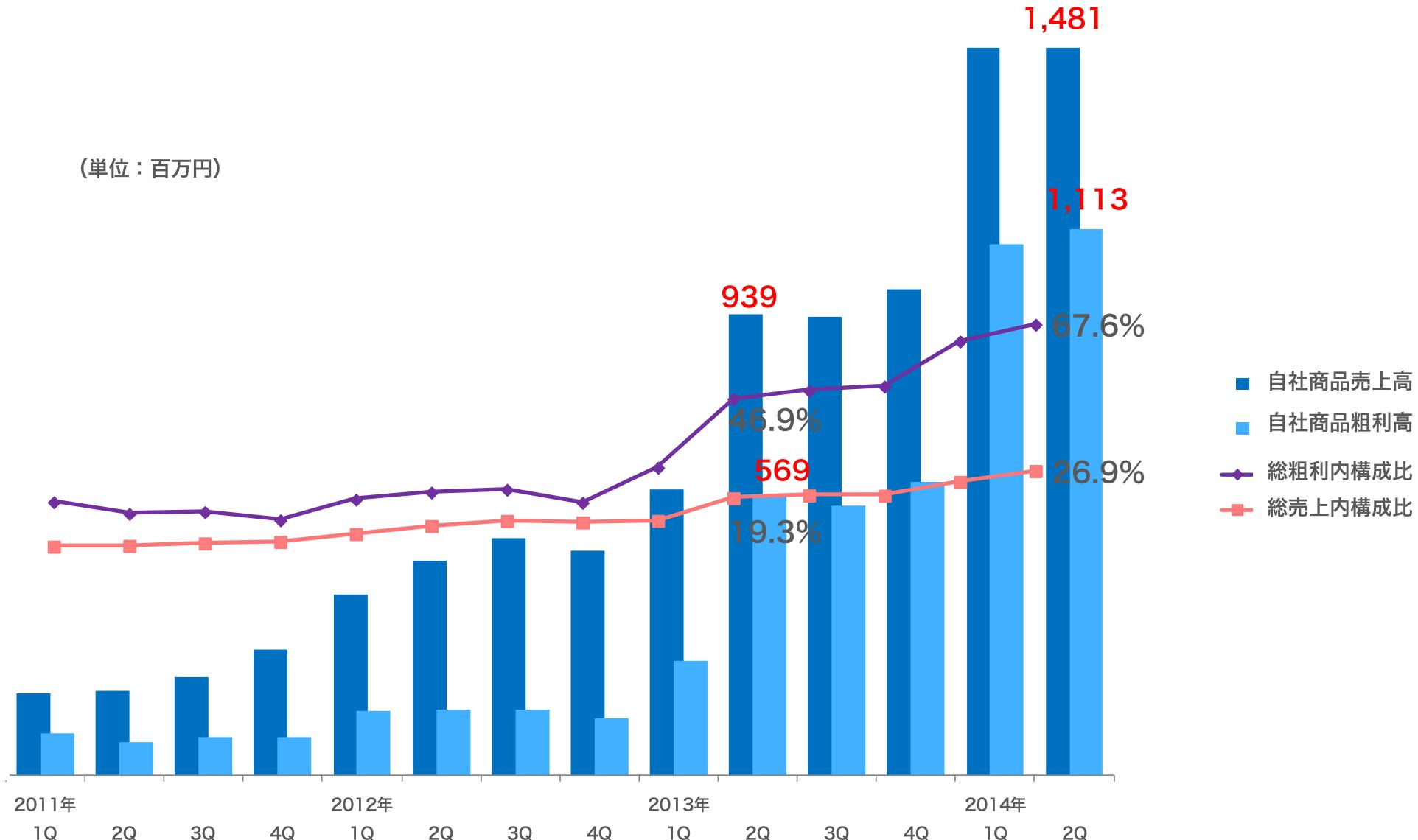
# 売上総利益率は29.9%へ上昇

(単位：百万円)



# 売上高構成比が26.9%、粗利構成比が67.6%

(単位：百万円)



2

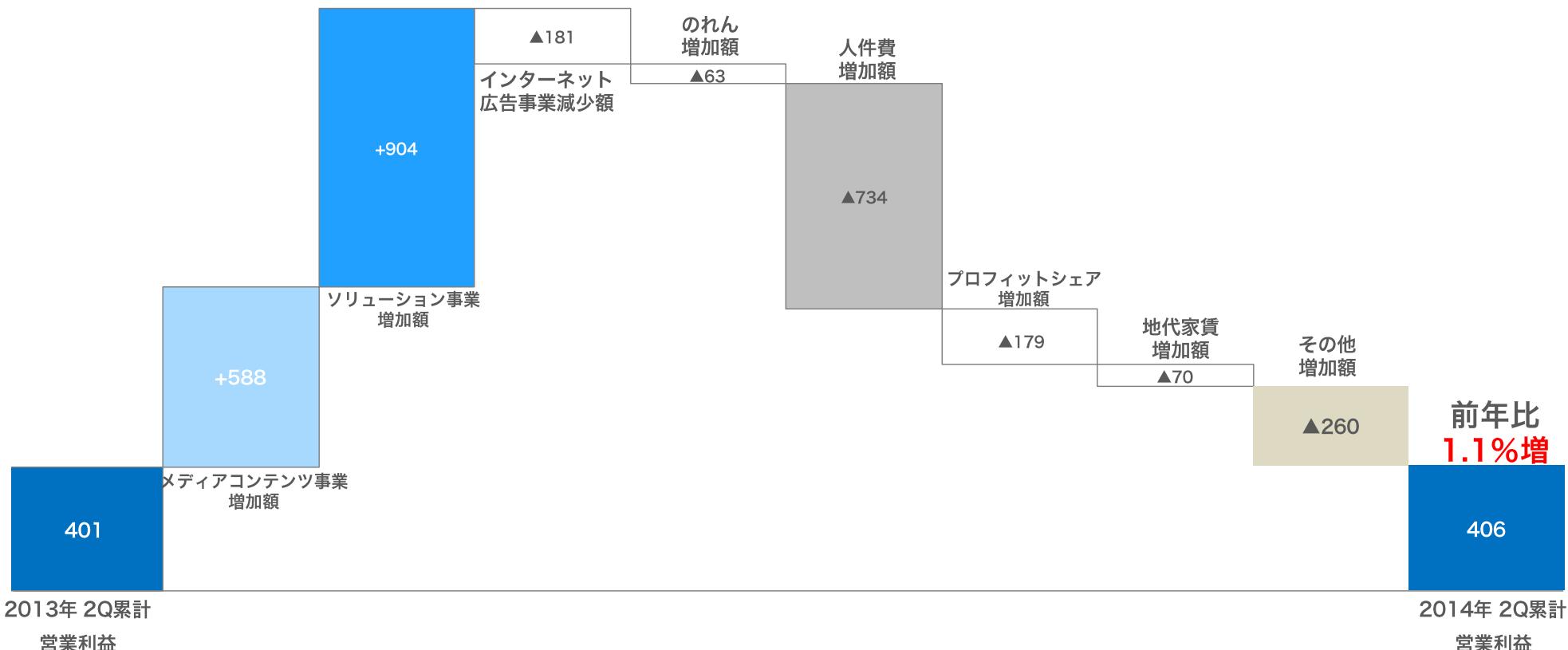
## 第2四半期決算概要

# 売上高、営業利益、最終利益が増加

(百万円)	2013年 2Q累計 (1-6月)	2014年 2Q累計 (1-6月)	前年同期比 (%)
売上高	9,331	11,726	+25.7%
売上原価	7,277	8,359	+14.9%
売上総利益	2,053	3,366	+63.9%
販売費及び一般管理費	1,652	2,960	+79.2%
(販管費率)	17.7%	25.2%	+7.5pt
営業利益	401	406	+1.1%
(営業利益率)	4.3%	3.5%	△0.8pt
経常利益	400	387	△3.3%
当期純利益	165	184	+11.8%

# メディアコンテンツ事業、ソリューション事業の利益増加が人件費増加を吸収し、営業利益前年比1.1%増

(単位：百万円)



## 流動資産が約2割増加、純資産比率は54%

(百万円)	2013年 2Q (6月末)	2014年 2Q (6月末)	前年同期比 (%)
流動資産	4,869	6,040	+24.1%
(現金預金)	1,748	2,110	+20.7%
固定資産	2,887	3,018	+4.5%
資産合計	7,756	9,058	+16.8%
流動負債	3,162	4,012	+26.9%
固定負債	98	142	+44.9%
負債合計	3,260	4,154	+27.4%
純資産	4,495	4,904	+9.1%
(純資産比率)	58.0%	54.1%	△3.8pt

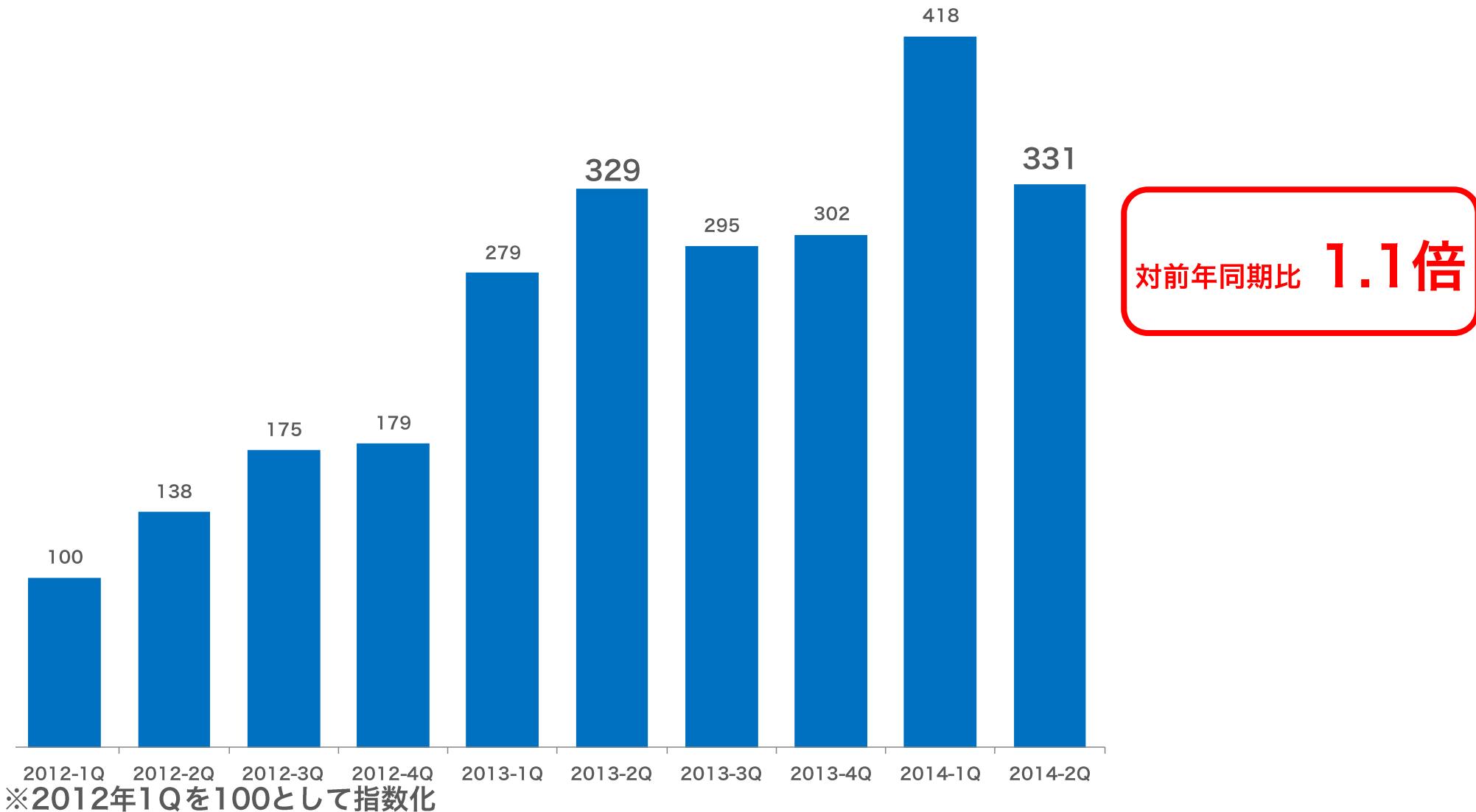
## 営業キャッシュ・フローは改善、現金及び現金同等物も増加

(百万円)	2013年 2Q (1-6月)	2014年 2Q (1-6月)
営業キャッシュ・フロー	227	459
投資キャッシュ・フロー	△ 1,441	△ 180
財務キャッシュ・フロー	△ 24	△ 394
現金及び現金同等物の増減	△ 1,237	349
現金及び現金同等物の期首残高	2,985	2,021
現金及び現金同等物の期末残高	1,748	2,371

③

## 今後の成長戦略

## 増減はあるものの持続的に成長



## Twitterをベースに高成長を継続



1,234

1,122

818

650

530

363

100

2012-4Q

2013-1Q

2013-2Q

2013-3Q

2013-4Q

2014-1Q

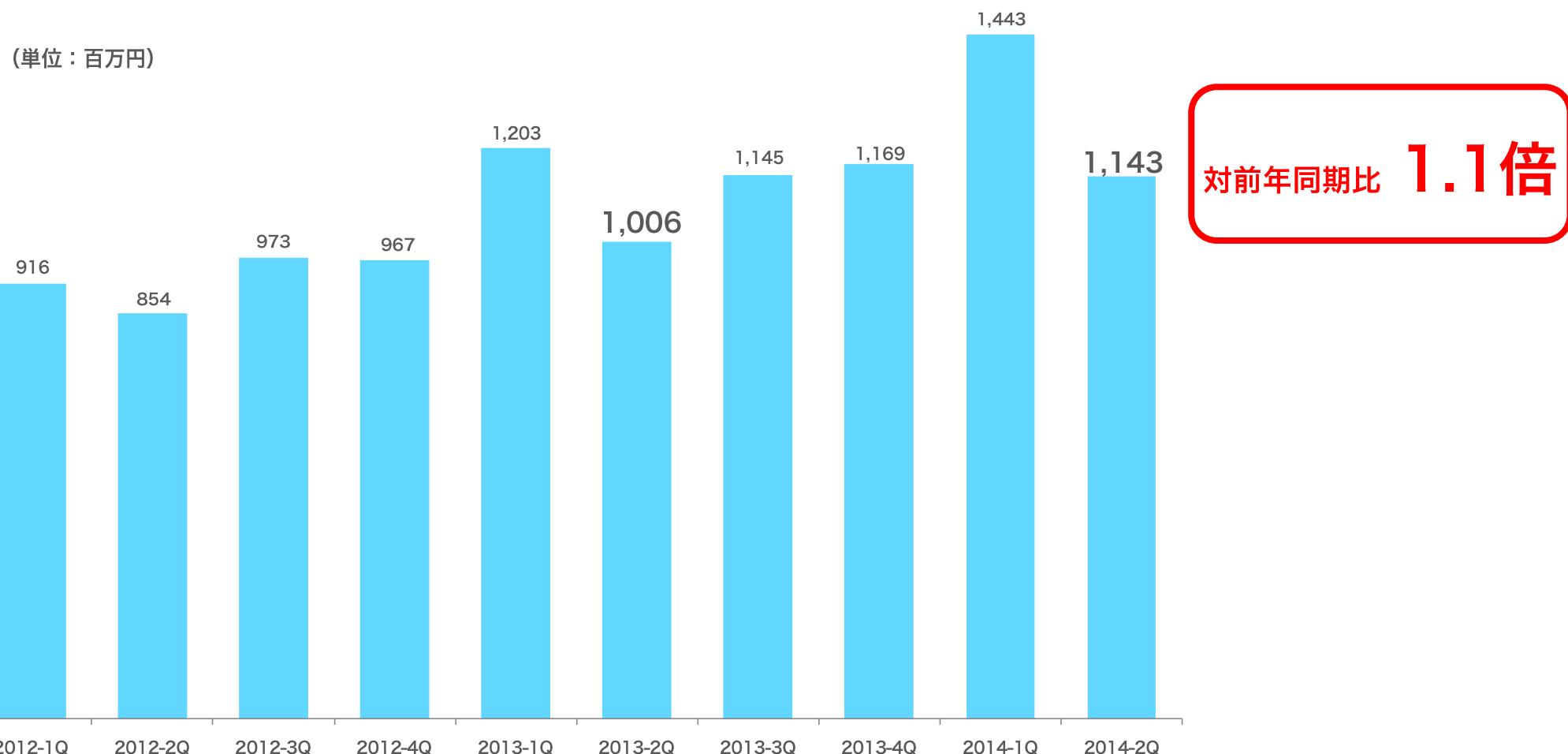
2014-2Q

※2012年4Qを100として指数化

対前年同期比 **2.3倍**

## 堅調に推移

(単位：百万円)



## 2014年の成長戦略

---

自社で開発し(PB)、自社で販売する  
グループ体制の構築

## 2014年の4つのテーマ

### ①自社アドテク商品・自社サービス(PB)強化

- ・日本初「Twitter Ads API」を利用した広告運用ツールを提供開始
- ・GMOSSP for Smartphoneでの国内外のDSPとの接続を積極的に実施
- ・GMOプライベートDMPを2014年10月より本格的にサービス開始
- ・ニュースアプリ「Yomerumo」に動画ニュース閲覧機能を追加

### ②積極的M&A、提携

- ・米Apsalar社と業務提携契約を締結、国内での独占販売権を取得

### ③エリア拡大、ローカル営業強化

### ④コーポレート強化

## 「GMO MARKETING SUITE for Social Media」を提供開始



統合型アドプラットフォーム  
X **GMO MARKETING SUITE**  
for Social Media

日本初

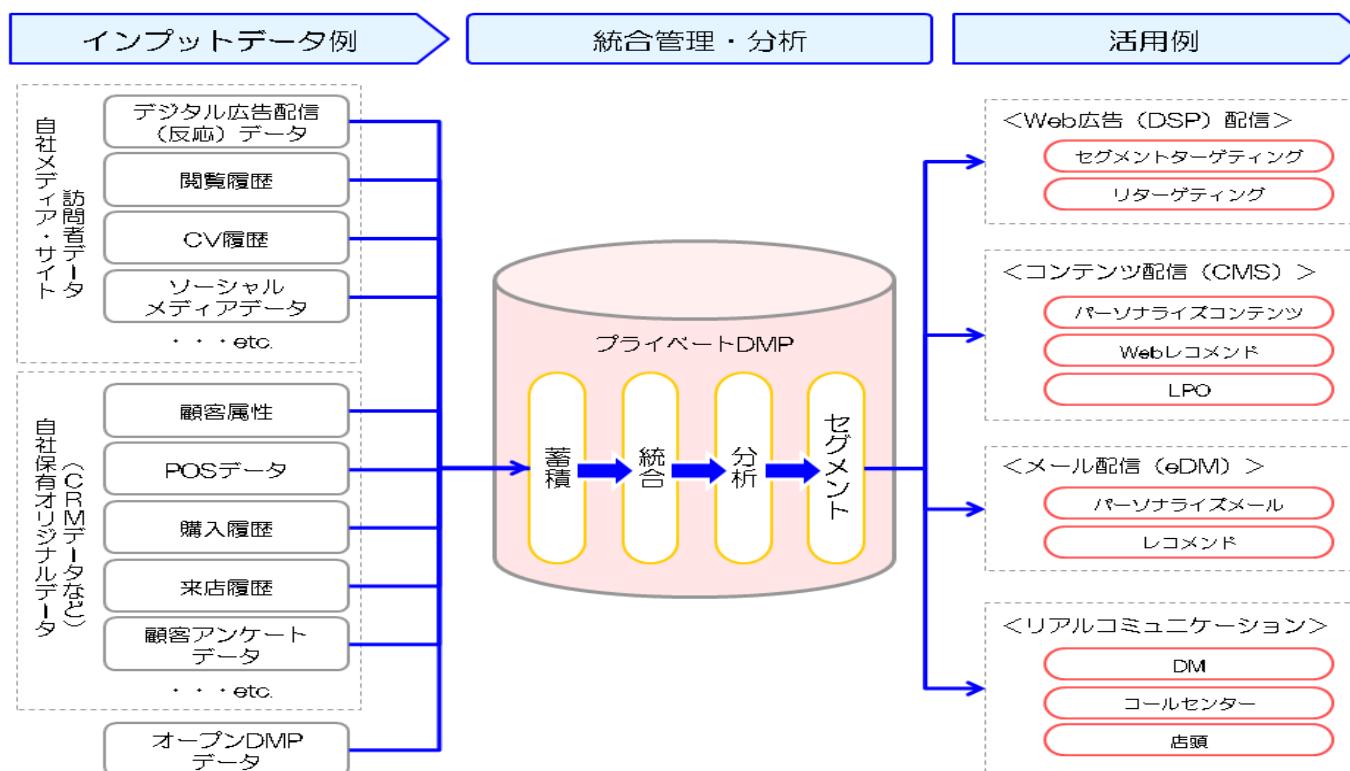
Twitterの広告API「Twitter Ads API」を利用

# GMOプライベートDMPを2014年10月より提供開始

## GMO PRIVATE DMP とは

企業が保有する顧客情報やWeb訪問履歴などのデータを分析し、マーケティング施策の検討に活用できるサービス

### <GMOプライベートDMPの活用イメージ>



## 米Apsalar社から国内独占販売権を取得



北米で高く評価

高度に分析、ROIを可視化できるアプリ計測ツール

8月より先行導入決定、10月より本格的にサービス開始

# 4

# 事業別概況

## 3つの事業領域で構成

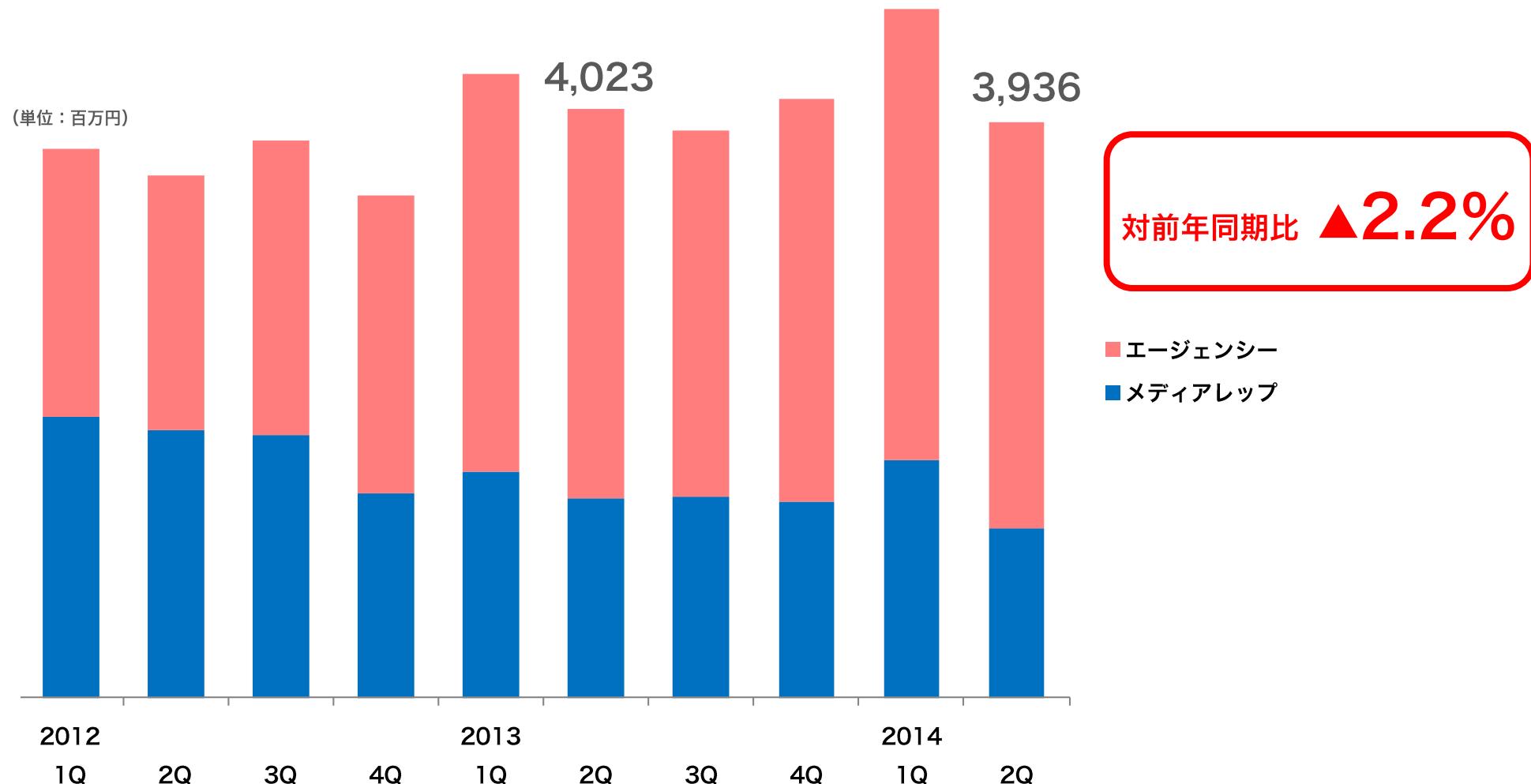
### ①インターネット広告事業

- └ メディアレップ事業
- └ エージェンシー事業
- └ アドテクノロジー開発

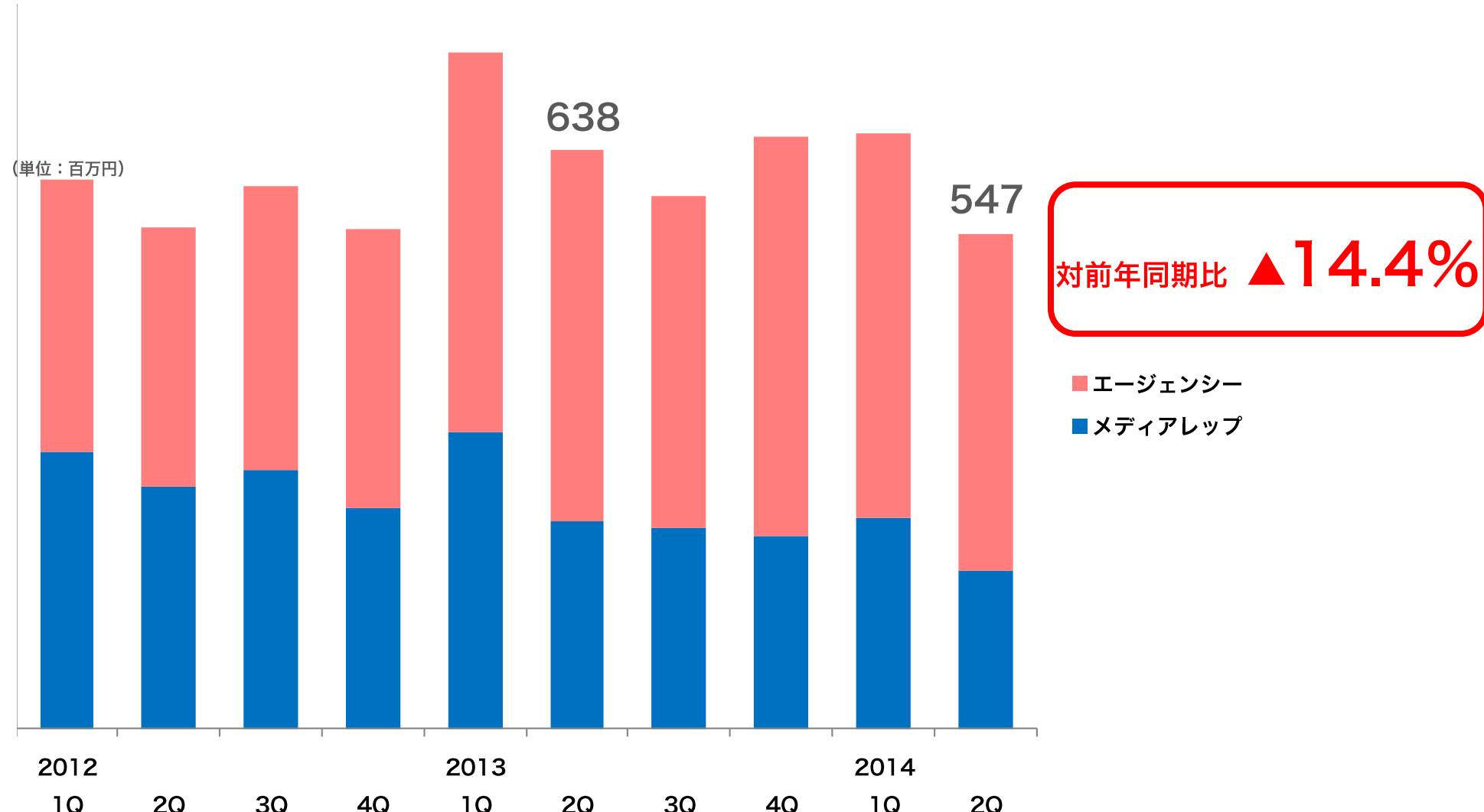
### ②メディア・コンテンツ開発事業

### ③ソリューション事業

# 広告事業売上高が減少

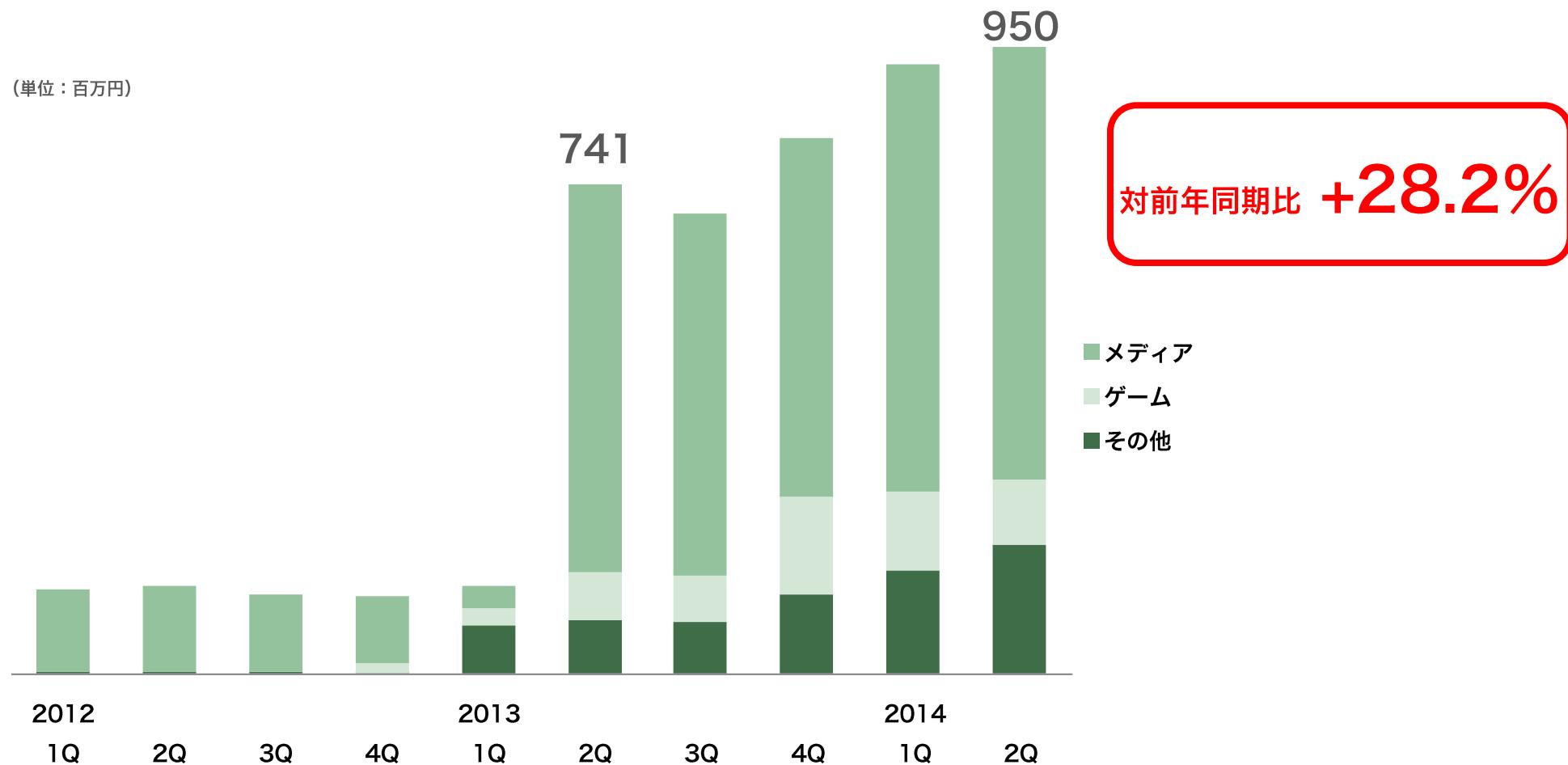


## レップ事業は3Q中に構造改革、エージェンシー事業は再強化



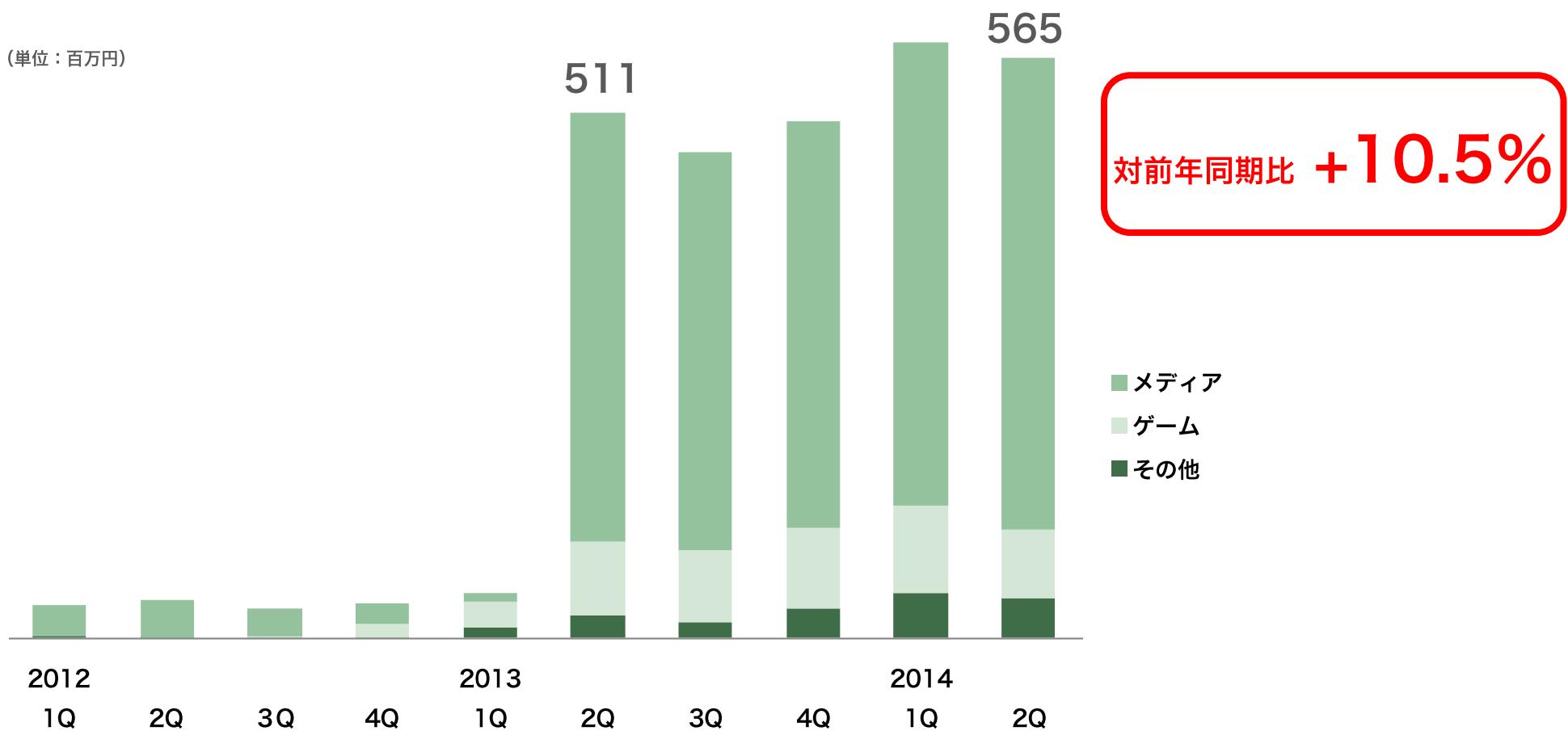
## 自社商品開発により持続的に成長

(単位：百万円)



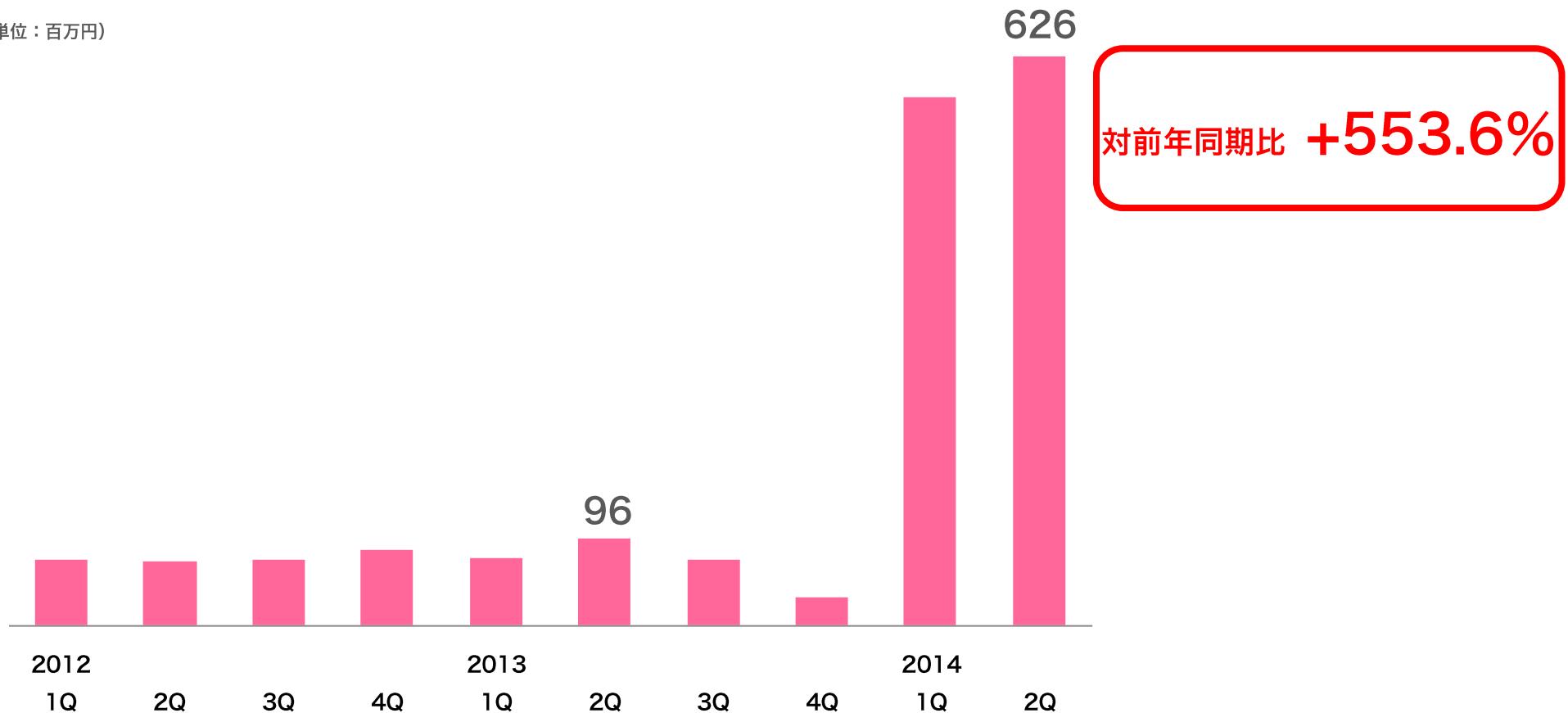
## 自社商品比率の向上による売上総利益UP

(単位：百万円)



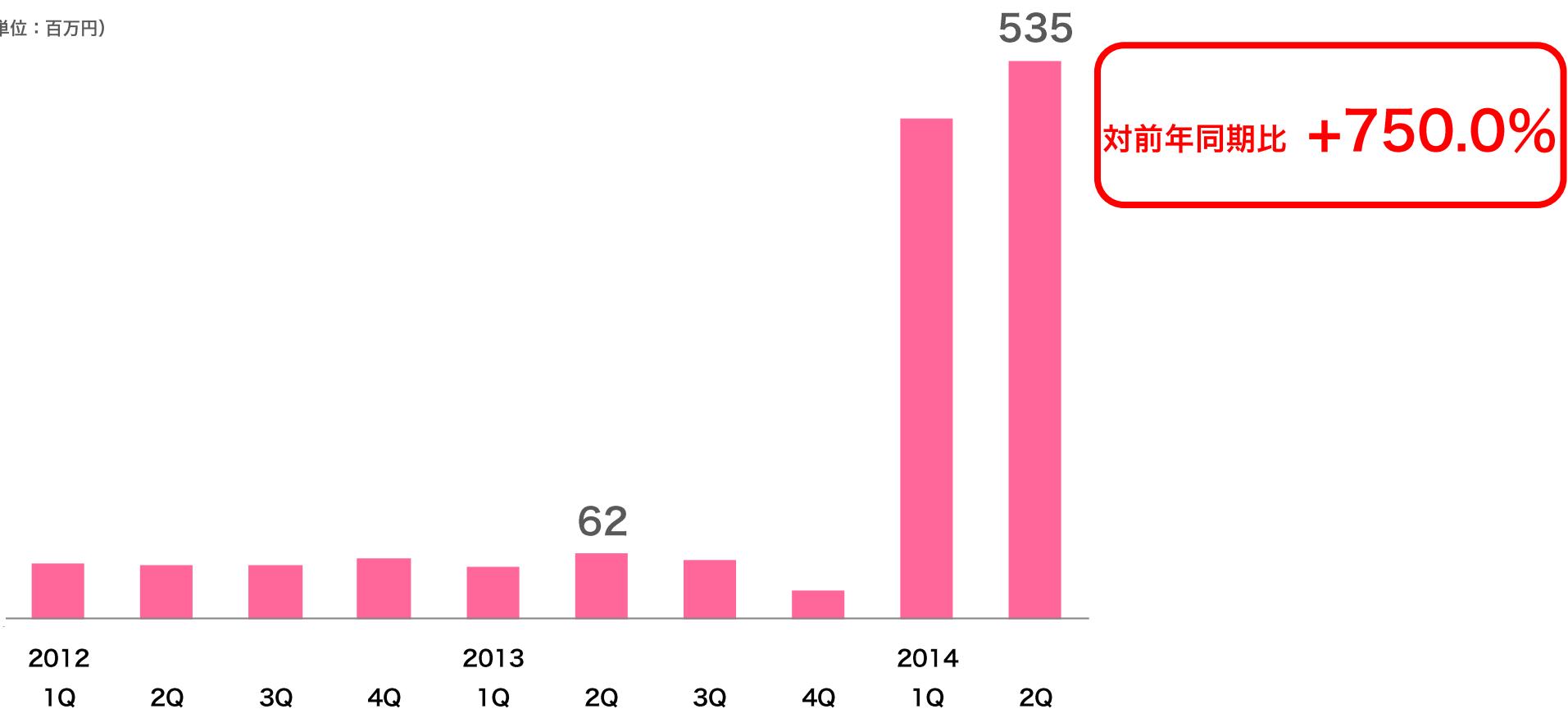
## GMOソリューションパートナーの連結寄与

(単位：百万円)



## GMOソリューションパートナーの連結寄与

(単位：百万円)



本日はありがとうございました。

**GMO** ADPARTNERS